

生態系サービスの 経済価値評価

- ベトナムの事例から -



環境省



Viet Nature Conservation Centre



バードライフ・インターナショナル東京

Email: tokyo.office@birdlife.org

Tel: 03-5213-0461



タイトゥイ湿地基本情報

タイトゥイ (Thai Thuy) 湿地は紅河デルタの重要な湿地の一つで、重要生息環境 (Important Bird & Biodiversity Area [IBA])* に指定されています。タイトゥイ湿地は 16km の海岸線を有し、南側には Tra Ly 川、北側には Thai Binh 川が流れています。IBA は海岸の 6,981ha をカバーしており、Diem Ho 川で二分されています。Thai Binh 川の河口の南側には広大な干潟が広がっており、土壌が堆積した場所では農業が営まれています。西側には塩田があり、Tra Ly 川沿岸は養殖場が広がっています。湿地は地元の人々に多くの利益をもたらすだけでなく、野生生物にとっても重要な生態系であり、鳥類、両生類、魚類、昆虫、水生植物など豊かな生物多様性を育んでいます。水鳥だけを見ても、タイトゥイ湿地には絶滅危惧種であるヘラシギ、クロツラヘラサギ、アカハジロが生息しています。

*IBAは、世界共通の基準に基づき、地域ごとにバードライフのパートナー団体や専門家等が適用し、サイトを選定します。



生態系サービスの経済的価値

合計金額：18億円/年

+炭素貯蔵による気候調整72億円

野生の収穫物 2.7 億円/年



タイトウイの主要産業の一つは漁業であり、地域住民は湿地や周辺の海から捕れる魚で生計を立てています。また貝類も干潟から収穫しています。

災害リスク低減 1.3億円/年



マングローブ林は沿岸地域の災害を低減します。先行研究からは、台風による防潮堤やコミュニティへの被害が低減されたことが分かっています。

養殖、天日塩田 14.0億円/年



養殖池では魚やエビが、干潟では二枚貝が養殖されています。海水を利用した昔ながらの塩づくりも行われていますが、近年では塩田から養殖地に転換されるなど、従事者数が減少しています。

炭素貯蔵 72.3億円



湿地は、炭素貯蔵の機能を通じて地球規模の気候調整を行っています。
※評価金額は、年間ではなく永続的に炭素を固定する機能の価値を示したものです。

為替レート:120円/USドル

生物多様性と生態系サービスの重要性

生態系サービスとは、「自然の恵み」であり、私たちは、食糧生産、安全な水の供給、気候調整、防災機能など、様々な便益を受けています。また、土壌の形成、栄養塩の循環などの自然のもつ機能は、私たちが価値を見出す様々な「もの」の供給を支えています。

タイトウイ湿地は、豊かな自然の恵みを人々にもたらしめています。今回の評価では、こうした生態系サービスの一部を簡易的に評価しています。

なぜ生態系サービスの経済価値をはかるのか？

生態系サービスは、その重要性にもかかわらず、従来の経済分析や意思決定において、その価値を十分に評価されていません。経済評価を行うことにより、人々が生態系サービスの価値、ひいては湿地の重要性を再認識することで、湿地のワイズユース、たとえば持続可能な農業や漁業へと人々の行動を変えていくことが期待されます。また、経済価値の評価により、湿地の効果的な保全と同時に人々の生計手段への配慮や貧困削減に寄与する土地利用や管理体制などにつなげることが期待されます。

評価結果の解釈について

- ・ 経済評価の結果は推定値であり、調査のサンプルサイズは限られていることに注意が必要です。
- ・ 蜂蜜や海藻の採集などの小規模のサービスは評価から除外しています。
- ・ 水の浄化機能は重要な役割ですが、推定が困難なため除外しています。
- ・ 生物多様性や土壌形成などの基盤サービスは、経済価値で評価することが不可能なため、除外しています。
- ・ 経済価値は市場の情勢などによって毎年変化します。
- ・ 今回の評価は、資源利用の持続可能性については評価していないため、今回推定された価値が将来的にも維持されるかどうかは不確実です。

こうした注意点を考慮しても、タイトウイ湿地はさまざまな利益を提供しており、その一部は経済価値で推定することができます。

